

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		家電量販店（店員）	・消費税引上げの影響は、3%から5%、5%から8%、今回の8%から10%へと、税率が高くなるほど大きく売上が伸びる。しかし、10月以降の反動減も想定されるので、販促面を強化するか、下期は販管費の削減に取り組むかを考える必要がある。
		乗用車販売店（経営者）	・ボーナス商戦と同じ時期に新型車が発売される。また、消費税の引上げ前の駆け込み需要も出てきており、今後が期待できる。
		スナック（経営者）	・多少、予約があるので、期待も込めて今月よりは良くなる。
		商店街（代表者）	・東京オリンピックが近づいてきて、景気が良くなってきたと感じる。
		商店街（代表者）	・消費税引上げ前の駆け込み需要が多少なりともあると思う。現時点ではまだ動きはみられない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・10連休で物が売れなかった分、3か月後ぐらいには多少は上向くと思うので、期待している。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・夏に向けて予算消化が活発になり、受注量の増加が見込まれる。
		百貨店（企画担当）	・消費税の引上げを前に高額品や化粧品などの消耗品に対する購買意欲が高まる。衣料品に関しても秋冬物の先買い意識が高まると予測している。反面、現状は非常に好調なインバウンドの売上や地域製造業の業績などの先行きが不透明な点と、猛暑や大型台風上陸など夏場の異常気象により、主要客である高齢者層の来店減を懸念している。
		百貨店（販売促進担当）	・消費税増税前の駆け込み需要が増加していくと見込まれる。
		百貨店（業績管理担当）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が見込まれる。
		百貨店（計画担当）	・底堅い富裕層の買上状況やインバウンド需要の好調に加え、一部で消費税増税前の駆け込み需要が出始めており、9月までは消費の盛り上がりが見込める。
		コンビニ（企画担当）	・規制緩和も進まず、夏のボーナスも横ばい、政治も経済もよく分からない状況であるが、猛暑だけは確実さを増し、関連商品のニーズ増大と新たな商品の創出で、国内の景気に限っては良くなると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・梅雨入りが例年より遅くなり、気温上昇による関連商品の改善とスピードくじやエンターテインメント関連での来客数増を期待する。さらに、デザートを中心に大型商品の発売を予定している。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・5月後半で夏日が続いているため、引き続きエアコンが売れる。消費税の引上げや東京オリンピックを控え、夏のボーナス商戦でテレビも期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・東京オリンピックが近づいているので、景気が上向いてきている。また、消費税の引上げ前の駆け込み需要で、一時的な動きとして景気が少し良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要はこれから本格化すると思われる。実際、来店客の話を聞いていると、消費税の話がよく聞かれるようになったので、9月一杯までは自動車、カー用品の購入や車検、点検などを前倒しで受ける客も考えられるので、期待をしている。
		乗用車販売店（従業員）	・全体の動きは悪くないので、先につながりそうな期待はある。価格的には厳しく、現状の売行きは余り良くないが、全く駄目ということではなく、少し今が踊り場で、ここから良くなりそうな印象を受ける。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車や特別仕様車の発売などが控えているので、受注台数の落ち込みはないと思われる。
		一般レストラン（従業員）	・消費税の引上げ前で消費が増える。
		旅行代理店（経営者）	・改元で明るい報道が増えてきたような気がするので、東京オリンピックに向け景気は上がっていくような気がする。
	旅行代理店（経営者）	・元号も改まって特に悪い材料もないので、景気も少しは良くなると思う。	
	旅行代理店（営業担当）	・東京オリンピック、大阪万博ぐらいまでは、旅行ムードは上向きと考える。	

その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	・短期的のみでない客の動きから、今後に期待できそうである。
美顔美容室 (経営者)	・ 8月からキャンペーン販売が始まるので、売上のアップにつながる。
その他サービス [介護サービス] (職員)	・ 消費税引上げの判断次第だが、駆け込み需要が少なからず見込めるのではないと思われる。増税後の冷え込みは覚悟している。
その他住宅 [不動産賃貸及び売買] (営業)	・ システム移行が順調に進んでいるので、客への対応もスムーズになりつつあり、かなり効率が上がってきている。
商店街 (代表者)	・ 客の購買意欲は、ゴールデンウィークをみるとあると思われるが、消費税が引上げられることによって、金を使わない傾向がみられ、余り変わらないように思われる。
商店街 (代表者)	・ 来客数そのものは余り変化がないが、必要な物以外を買わない傾向がずっと続いている。
商店街 (代表者)	・ 節約志向は強いが、消費税引上げ前の駆け込みはあると思う。
商店街 (代表者)	・ 消費税の引上げを控え、耐久消費財の販売増を期待しているが、今のところ消費税絡みの買換え需要は発生していない。客も慌てて消費税の引上げ前に、という意識が余りないようである。
一般小売店 [高級精肉] (常勤監査役)	・ 諸外国の為替、貿易、政治等の問題が多いが、そのバランスの上での景況感は変わらない。
一般小売店 [土産] (経営者)	・ 現状は悪くない状態で今後もその状態が続くと考えている。消費税の引上げがどう影響するかは分からない。駆け込み需要は余りないと思われる。
一般小売店 [薬局] (経営者)	・ 最近は飲食店、居酒屋共に客がいらないといっている。原因は分からないが、客は本当に余分な金を持っていない感じがする。当地方の不景気さの表れかもしれない。
一般小売店 [贈答品] (経営者)	・ 売上が変わらない状況が3か月先も続く。部門別に分けると、個人・家庭の贈答品傾向は、付き合いの幅を狭くしているため、今後3か月先も売上は鈍化していく。しかし、法人客は、売上を上げようといういろいろな施策も出てきているので、法人先の営業については、少し上がっていく。店全体とすれば3か月先も個人が伸びず法人が伸びて、バランスは変わらない状況になると感じられる。
一般小売店 [生花] (経営者)	・ 余分な物は買わない客が増えているように見受けられる。依然として財布のひもは固く、現状維持が見込まれる。
一般小売店 [酒類] (経営者)	・ 4月以降のシャンパン、ワイン及びソフトドリンクの売上から、飲食店の経営状況の悪化が進んでいる。
一般小売店 [果物] (店員)	・ 3か月ほどでは変わらない。
一般小売店 [和菓子] (企画担当)	・ 米中の貿易摩擦や英国のEU離脱等、海外要因が非常に不安定である。それに加え、イラン問題等、海外要因の動きによってこれからは大きく変わると思う。
百貨店 (総務担当)	・ 選挙前になると消費が弱くなる傾向があり、マイナスの要素もあるが、今年の夏のボーナスは、消費税増税前の駆け込み需要等一定程度の消費も想定され、プラスの要素もあるため、プラスマイナスゼロベースを想定している。
百貨店 (販売担当)	・ 母の日などのイベントは前年より良かった。
百貨店 (販売担当)	・ ボーナス、消費税引上げ前の販促プロモーションで集客は期待できる。ただし、現状を上回るほどの景気の好転はないと見込まれる。
スーパー (店長)	・ 安価な物の購買率は維持されそうである。消費税の引上げを控えており、スーパーでの買物は絞り気味になり、逆に大きな買物は増えるようである。
スーパー (支店長)	・ 米中の貿易摩擦や原料値上げに伴う商品価格の上昇など、消費者にとって買い控えせざるを得ない状況になりつつあり、当然、消費の鈍化が懸念される。
スーパー (ブロック長)	・ 最近の局地的大雨や高温などの天候不順、株価の低迷、商品の値上げ、ガソリンの値上がりなど、良い材料が見当たらない。
スーパー (商品開発担当)	・ 来客数は前年比100%をキープしているが、販売額が上がっていない。3か月後も今の状態と余り変わらないと思われる。
スーパー (経営企画担当)	・ 期待するものがない。
スーパー (商品管理担当)	・ 気温変化によるが、大きく変動する要因がない。

スーパー（総務）	・改元で売出しを行ったが、売上は以前と変わらず伸びず、前年並みとなっているため、今後の傾向も変わらないと見込む。
スーパー（販売担当）	・たまたま今月はイベントが多くあったので来客数もあったが、これから先はどうか分からない。
コンビニ（企画担当）	・猛暑になると飲料は伸びることが予想されるが、景気が良くなる要因はない。
コンビニ（店長）	・気温上昇による飲料の販売量アップに期待したいが、暑すぎると逆に消費が落ちるので、天候次第ということでは変わらない。
コンビニ（エリア担当）	・今年も猛暑の影響で、それなりの伸びはあるかもしれないが、景気の回復といえるレベルではないと考える。また、猛暑による出控えも少し懸念されるため、変わらないと見込む。
コンビニ（本部管理担当）	・直近4～5月の前年比売上は好調であるが、要因は明確で、今年しかない特需であるゴールデンウィーク10連休の影響が大きい。6月以降も客の動向や客単価が好調を維持できれば、景気は上向きと判断できる。
衣料品専門店（経営者）	・バーゲンセールだからといって品ぞろえをしても売れる時代ではないので、今ある商品を丁寧に売っていくつもりである。
衣料品専門店（売場担当）	・消費税引上げ前の駆け込み需要がある程度想定されるが、飽くまでも一時的なものであり、景気と比例しているとは思えない。
家電量販店（店員）	・スマートフォンによるバーコード決済でお買得なキャッシュバックキャンペーンがあるが、ほとんど利用がなく、消費税増税前の駆け込み需要も限定的な気がする。
乗用車販売店（営業担当）	・相変わらずのガソリンの価格の高騰やいろいろな物の値上げで、消費意欲が落ちている気がする。米国と中国の貿易摩擦も我が国に影響してくるのではないかと。
乗用車販売店（経営者）	・米中の貿易摩擦の影響が為替も円高気味で、企業業績も見通しにくい。個人消費も慎重になりそうである。
乗用車販売店（経営者）	・特に変わる要素はない。
乗用車販売店（従業員）	・販売台数は前年並みが見込めるが、納期が掛かる車種が多いため、販売しても売上に結び付かない。消費税の引上げ前の駆け込み需要も多少は見込めるが、納期が掛かりすぎて客に伝わりにくくなっている。
乗用車販売店（従業員）	・話題となる新型車両の発売を機会として、店頭で足を運んでくれる客が増え、さらに、夏のボーナス時期を迎えるので新車販売市場が少しでも活気付くよう期待する。しかし、買わなければならない必要な物と、そうではない物の線引きが厳しく、なかなか客の財布のひもは固いと感じる。
乗用車販売店（販売担当）	・フルモデルチェンジの商品が一杯出ているにもかかわらず、販売量は伸び悩んでいる。値引きができないという原因もあるが、厳しい状況が続くのではないかと思う。
住関連専門店（営業担当）	・新築現場に対する客の状況が、余り前向きになっていない。反対に、リフォームや大規模改修等、金を掛けずに小規模での工事は多くなっている。
その他専門店 [雑貨] (店員)	・特に悪くなるような要因が思い当たらない。
その他専門店 [書籍] (店員)	・2～3か月後は、夏休みの期間に入っていくのでレジャー代に流れたりするため、余り良くはならない。景気的には悪くなるのではないかと心配している。
高級レストラン（経営企画）	・現状の景況感を引きずり節約傾向が続き、前年より来客数の減少が見込まれる。一方で、利用時の客単価は若干であるが上昇傾向である。
一般レストラン（経営者）	・消費税の引上げ前で買い控えがかなりあると思われる。
その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	・消費税の引上げまでは、特段消費マインドが変わる気配は感じられない。消費税引上げの影響がどの程度あるのかは読めない。
観光型ホテル（経営者）	・宿泊に関しては、前年比で5～8%の伸びがみられるが、地元経済を反映する昼食、夕食は、80～90%という形で前年を上回る数字になっていないので、地域経済が活性化していないと思われる。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から先行きも変わらないと判断する。

旅行代理店（経営者）	・子供の夏休みのスケジュールの段取りが決まってくると、第2弾の受付が集中するが、今年の台風など天候の影響でどう変わるか最後まで分からない。しかし、秋以降も休日が多いので、連休の受付は期待している。
旅行代理店（経営者）	・東京オリンピックのチケット申込みが本格化し、秋にはラグビーワールドカップが始まるので、客の目がそちらの方に向いてしまうと考える。
タクシー運転手	・長い間、繁華街の出入が少ない。以前だと、今週の週末はよく人が出たとか多少は変化がみられたが、今月の週末は良くなり、先が良くなるような変化がみられない。まだ、この状態が続くのではないかと思われる。
タクシー運転手	・米国と中国の貿易摩擦の影響で、この地域でも、特に車関係の部品メーカーの工場などでは、売上がかなり落ちているとか注文が減っているという話を頻りに聞く。いろいろな面で早く円満解決しないと、自身の仕事にも影響が出てくる。
通信会社（企画担当）	・行政区の区割りに対する住民投票も白黒がはっきりせず、改元特需もさほど大きくはなく、自動車不正問題の影響も見受けられ、地域全体が停滞気味のように感じる。
通信会社（営業担当）	・経費削減の相談は今後も増え続ける。
通信会社（サービス担当）	・7月から、コラボレーションモデル間の移行ができるようになるため、既存客の解約は減るように思われる。
テーマパーク職員（総務担当）	・景気が良くなる要因が思い当たらない。また、悪くなる要因についても同様である。
観光名所（案内係）	・台風がこのところ発生していないが、夏に向かって天候がどうなるかにかかっている。
ゴルフ場（支配人）	・7～8月の入場者予約数は少し低調なゴルフ場が多い。一部のゴルフ場に集中している感もあるが、前年よりやや少ないと感じる。2～3か月先は特に良くなるとは言い難く、今のままの景気で推移すると思われる。
美容室（経営者）	・今から暑くなってくると、やはり少し客足が遠のく。
美容室（経営者）	・消費税がこれから上がるので、余り金を使わないようにしている客が多い。
住宅販売会社（経営者）	・これから取引が増えてくると、減税の住宅が多くなる。
住宅販売会社（従業員）	・大きな影響はないと思われる。横ばい状況が続く。
住宅販売会社（従業員）	・5月の来場者のしわ寄せがくるため伸び悩むと考えられるが、本来なら住宅は既に消費税増税対策が間に合わないが、他の物の購入に釣られてマイナス分くらいの来場がありそうなので、プラスマイナスゼロと見込む。
その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・企業の社宅新築工事や工場の改装工事、個人のリフォーム工事などの問合せが堅調にある。
商店街（代表者）	・連休明けからの状況に鑑みると悪くなる。連休明けの来客数、販売量及び客単価など全ての面において前年を下回っている。
百貨店（売場主任）	・いろいろなイベント等を行っているが、なかなか客の購買を促すことができない。これからでは6月末になるとクリアランスセールが近づいてきて買い控える客が多いので、定価ではなかなか売れず、セール待ちとなる。セールになっても、それほど大量に買う客がいないので、メーカーとしても在庫だけが残るイメージでそれほど靴を作らなくなり、紳士靴の販売は厳しい。
百貨店（経理担当）	・今夏のボーナスは企業の業績悪化に伴い前年水準を割り込むことが予想され、レジャーや娯楽など消費が減少すると考える。
スーパー（経営者）	・先進国及び中国の輸出入が減少し、各国とも景気の減速が進み外需の低迷がはっきりしている。米国の貿易赤字は、我が国が中国に次いで大きいと、輸出も徐々に減り影響が出てくる。米中の貿易摩擦は中国だけに限らずアジア等の中進国にも輸出減として影響する。我が国の景気にはマイナス要因となり、8月頃の景気は余り良くなりなく景気の悪化は当分続くと思われる。
スーパー（店員）	・5月下旬にこの地方では高温注意情報が発令された。日中30度を超える日は昼間の客足がびたりと止まる。この先の予報も暑い天候が続くと見通しなので、売上也鈍ると思われる。

	スーパー（販売担当）	・今までEDLP（エブリデイロープライス）の店だったが、来月から一部の商品を値上げする。値上げするのは主力品も多いので、売上は下がるのではないかと見込む。
	スーパー（営業企画）	・消費税の引上げの動向にもよるが、増税に向けて生活防衛的な消費マインドが強まると思われる。
	コンビニ（エリア担当）	・前年の猛暑に比べ今年は平年並みの暑さになることや、消費税の引上げに対するマインドの冷え込みなどが危惧される。
	コンビニ（エリア担当）	・消費税の引上げも見据えて、財布のひもは固くなる。これまでそういった傾向があり、以前よりも単価の高い商品は動きが悪くなっている。セール品等や安価な商品への反応は良いので、何とか低価格帯の商品で販売を増やしていきたいと考えている。
	コンビニ（店長）	・当店は宝くじも販売しているが、販売額は徐々に減少している。夢をみる支出に対しても、余裕がなくなってきたように感じる。
	コンビニ（商品開発担当）	・お膝元の大手自動車メーカー関連の仕事が減っている影響が出てきており、この流れは続くと考える。
	コンビニ（店員）	・夏休みに入ると帰省で来客数が減るように思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・車の買換えを控えたり、半年点検や1年点検を取りやめるケースが目立ってきている。
	乗用車販売店（営業担当）	・客足が悪いなか、しばらく目立った新商品もなくジリ貧が続く見通しである。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比3.3%のマイナス、来客数も同じく4.2%のマイナスである。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・地政学的な要因と将来的な不安要素などで、ポジティブよりもネガティブな心理がますます働いていく感じを受ける。
	観光型ホテル（支配人）	・前年は2～3か月先に台風などの風災害に見舞われた結果多大な減収になったので、それよりは良くなると思うが、宿泊予約が前年同期比で3割強の減となっており、現時点ではかなり厳しい見込みである。
	都市型ホテル（経営者）	・米中の貿易摩擦は大きな課題である。
	都市型ホテル（総支配人）	・ホテルは、インバウンドの伸びより新規出店の伸びが大きく競争が激化する。一方でアルバイト、正社員とも採用ができず、コスト増となる。
	旅行代理店（営業担当）	・6月から食品関係中心に物品の値上げが発表され、家計の負担が高くなる。余暇に回す金を減らし、備蓄に充てる家庭が多くなると思われるので、旅行需要は間違いなく悪くなる。10月の消費税引上げが見直されれば、違ってくると思われる。
	タクシー運転手	・地方のタクシーなので高齢者の客が少なくなっていく。
	通信会社（営業担当）	・今後も、継続的に減少が続くと思われる。
	テーマパーク（職員）	・他の地方でのイベントも多く、客が分散している。
	パチンコ店（経営者）	・規制によって、収益性の高い機種が排除されるようになる。
	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・海外情勢が悪くなりそうである。
	理美容室（経営者）	・客との話から、物価も段々と上がって、段々と景気が悪くなっていくのではないかと思われる。
	設計事務所（職員）	・景気の良くなる要因が全くない。為替なども景気が良くなる動きが全くみられない。
	住宅販売会社（従業員）	・外壁の塗装など経年劣化に伴う補修工事はあるものの、大規模な増改築はなくなってきている。文化財保護法による開発事業者負担の発掘調査費で、土地の売却にも困っている地主もある。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・消費税増税前の駆け込みの仕事も増えてはいるが、最低限の発注しかない。施主に余裕のなさがかがえる。
×	スーパー（総務担当）	・母の日のセールも盛り上がりせず、6月の父の日の予約数も良くない。
×	衣料品専門店（販売企画担当）	・客と話していても、必要な商品以外は選ばず、購買意欲が下がっている。
×	一般レストラン（経営者）	・飲食店では、酒類の仕入値が徐々に上がっている。ガソリンの価格も徐々に上昇している。秋に向けて消費税引上げに対して、外食費等を控える人がとても多くなると思う。

	x	一般レストラン（経営者）	・飲食業を営んでいるが、長年続いた古い同業者が4～5月にほとんど店を閉めている。個人がなかなか商売を営める環境ではなくなってきたような気がする。
	x	理容室（経営者）	・地方では景気の良い話は出ないし、そもそもない。
	x	設計事務所（経営者）	・確実に悪くなる。現時点でも案件がない。
企業 動向 関連 (東海)		-	-
		食料品製造業（営業担当）	・夏季は業界全体で販売数が伸びるため、現状よりは伸びる時期となる。
		化学工業（営業担当）	・電材需要が7月頃より回復する見込みである。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・遊休設備の活用にも限りがあるので、老朽設備更新の引き合いが入ってくるはずである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先業界でのお盆商戦前の設備投資、消費税引上げ前の駆け込み需要が期待できるため、当社の製品もある程度出るのはないかと期待する。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・10月の消費税の引上げに向けて、これからいろいろな買物をする人が増える。
		通信業（総務担当）	・10月からの消費税引上げにより、車ディーラーからも前倒し購入の声が聞こえてくる。小売では、消費税2%還元政策によりキャッシュレス対応レジの導入や電子マネーの立ち上げなど小規模ながら景気への刺激になっていく。
		通信業（法人営業担当）	・企業からのコンサルティング要望が増えてきた。漠然とはしているが、次の一手を打ちたい、あるいは打てそうな状況がうかがえる。
		金融業（従業員）	・特に建築業はバブルのような状況が続いているということで、やや良くなると見込むが、業種によっては比較的ばらつきがある。
		食料品製造業（経営企画担当）	・消費税の引上げを控え、消費の動向にも明るい材料は見当たらない。
		化学工業（総務秘書）	・米中の覇権争いにみられるように政治と経済の結び付きが強くなり、先行きが不透明な不安はあるが、直ちに景気に影響が表れるものではなく、特段の景気変動要因が見受けられない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・米国と中国による関税合戦の影響で生産を控える客がいる一方、既に底を打って回復傾向にあるという客もあり、全体としては余り変わらないと思われる。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも横ばいで、引き続き良くない傾向が続くと考える。
		金属製品製造業（従業員）	・忙しいが、残業や原材料の高止まりで収益に直結しないところが悩ましい。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量共に変わらない見込みである。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・費用増加への対応や反省が今後に活かされるかどうかが課題である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・工作機器関係等の客先からも、今後については投資が非常に困難であるとか、現状維持あるいは減少傾向になるのではないかと聞いた話を聞く。鉄鋼の価格が上昇するという話もあるため、先行きは変わらないか、やや悪くなるのではないかとと思われる。
		建設業（役員）	・大手自動車メーカー系企業の客が多いなか、今のところ特に優位な環境ではない。消費税の引上げに対しての焦りも感じられない。
		建設業（経営者）	・大企業は別として、一般の庶民の景気は良くならない。すごく悪くもないが、良くなるとは全然思えない。
		輸送業（エリア担当）	・単価は安定しているが、発送、到着共に減り始めている。
	輸送業（エリア担当）	・米中の貿易摩擦が懸念されている。我が国への影響がどれだけあるのかということだが、これは対外的な問題である。国内輸送産業への影響については、既に国内の生産体制は海外に移転しているので、国内での物量の変化には影響しないと思われる。	
	通信業（法人営業担当）	・消費税アップも織り込み済みの観がある。景気が落ち込んでいるという政府見解については、地方の感覚は少しずつ変わるので、足元では変化は感じられない。	
	金融業（企画担当）	・為替、株価が良い方向に動き含み益が出てこない個人投資家は動けず、消費に向かいづらい。個人投資家以外の個人も給料が上がってこない消費に向かいづらく、当面現状の景気が続くと思われる。	

	不動産業（経営者）	・今後も例年同様に晴天の日が多くなると予想されていることもあり、当面の景気は今月同様に良い状態が継続し、売上は前年同期100%以上で推移するとみている。	
	広告代理店（制作担当）	・夏季商戦に向けての企画提案も、今年は予算等の面で余り期待できそうにない。	
	公認会計士	・中堅中小企業の生産性向上や事業承継等の課題は解決に時間が掛かると思われる。これらを支援する機関が少ない。	
	行政書士	・貨物の動きが、良くもないし悪くもない。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・5月は開発が大いに進み、全体のプログラムが完了した。これから良い方向に改良していく段階になった。景気の先行きは、大きく変化はしないと考えている。現状の為替水準であれば十分やっている。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・夏季は、受注量、販売量共に大幅に落ち込む傾向があり、取引先からも良い情報がなく、景気は少し悪くなる。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	・通信放送業界の設備投資意欲は高く、高速インターネットや新4K・8K衛星放送の普及が望まれるが、秋口の消費税の引上げ以降、一般消費者の消費マインドにどう影響するのか、非常に心配である。	
	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・米中間の貿易摩擦の影響が出そうである。	
	輸送業（経営者）	・米中貿易摩擦への懸念、中国の景気低迷により、日中間の輸出入が減少すると見込まれる。	
	輸送業（エリア担当）	・消費税の引上げの影響と東京オリンピック後は受注量が減りそうである。	
	輸送業（エリア担当）	・輸出入の量は減ると見込む。	
	輸送業（役員）	・米中の貿易問題やEUの政情不安など国際情勢が、今後中小企業も含む全国産産業に大きなマイナスとなる。また、原油価格の高止まりが物流業界の他にも影響し、徐々にマイカーの運転自粛や旅行業などにも響いて車の販売も減る。さらに、人手不足でも採用ができない弱い業界や中小企業などは徐々に深刻な影響が表れる。	
	不動産業（経営者）	・不動産の買い控えの様子がうかがえる。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・改元などのイベントがあっても、折込チラシが増えてこない。	
	会計事務所（職員）	・これまで受注が好調だった会社も、少し先の見通しが悪くなっていると聞いている。飲食店、美容院やクリーニング店等の一般消費者を客とする店も、来客数や客単価が横ばいか減少しているの、やや悪くなる。	
	会計事務所（職員）	・消費税引上げ前の駆け込み需要はまだみられないが、商品等の値上げが目立ってきている。消費者の財布のひもは固くなってきている。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・業界として需要と供給のバランスではあるが、客の開発要員の希望は目覚ましく増えているわけではないので、採用が増えても投入できる先がいずれ飽和する可能性がある。	
	x	鉄鋼業（経営者）	・今後に向けての見積りや引き合いが非常に少ない。例年であれば夏以降の話も出てきているのが、今年はそういった先の案件がほぼゼロである。
	x	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・米中貿易摩擦の影響がもっとひどく出てくると思う。産業界にとっても影響が出てくるし、もし少しでも円高になれば、我々の業界への影響はもっと悪い方向で出る。
雇用 関連 (東海)	-	-	
	人材派遣会社（営業担当）	・各社で新入社員研修などが終わり今年度の人員計画が変動し始める時期と推察している。今後は中途採用や派遣利用などを視野に増員を見込み、景気はやや良くなると期待している。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・国家試験合格率の影響もあってか、前年にはなかった法人や県外からの求人が増えている状況で、医療職の有資格者の採用は増加すると思われる。	
	人材派遣業（営業担当）	・原油高、米国の関税引上げなど、日本に不利な条件が継続している。	
	人材派遣会社（社員）	・現状の予約状況は例年と変わらない。	
	人材派遣会社（企画統括）	・人手不足は深刻化しており、解消に向けた特段の材料が見当たらない。	
	求人情報製作会社（営業）	・米中貿易摩擦他、外部要因で国内市場に停滞感が残る。不透明感から、景気が上向きとなる材料が乏しい。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・急速な変化は見受けられない。	

	職業安定所（所長）	・米中関係で不安要素はあるものの、企業からは継続して人手不足の声をよく聞く。
	職業安定所（所長）	・新年度以降、新規求人数は減少しているが、7月から開始される新規高卒者の採用に向けた求人提出を希望する企業は前年同様に多く、全体的には大きな変動はないものと考えられる。
	職業安定所（職員）	・地域産業である繊維産業は依然として変わらず厳しい状況であるが、大型ショッピングモールの出店もあり、全体的には変わらないのではないかとされる。
	職業安定所（職員）	・先行きの見通しが不透明である。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・求人数が春先に比べると徐々に減少傾向にある。今後、夏の長期休暇の時期には求人の動きが例年停滞するため、上昇を見込める要因が見当たらない。
	民間職業紹介機関（支社長）	・米国との貿易交渉が影響を与える可能性がある。
	人材派遣会社（経営企画）	・米中貿易摩擦の影響を含め、やや需要面の弱まりを感じさせる話がちらほら聞かれる。
	人材派遣会社（営業担当）	・AIやRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）等の導入により、オペレーション業務の人材不足に対処していく方針の企業が着実に増加している。
	人材派遣会社（営業担当）	・新卒エンジニアの配属ペースが前年より鈍化していることと、次の業務が決まっていない経験者エンジニアの配属ペースも数か月前より鈍化していることから、全社のエンジニア稼働率は若干低下する可能性があり、2～3か月後の景気もやや悪くなるのではという懸念がある。
	人材派遣会社（営業担当）	・求人数が減少傾向にあり、株価や世界情勢に関するニュースも良くない。
	職業安定所（次長）	・中小企業から、受注減傾向にあり先行きを不安視する声が複数聞かれた。
	職業安定所（次長）	・世界経済の情勢の不透明感から、製造業を中心に様子見感が広がっていることが懸念される。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・転職希望者の動向は堅調に推移しているが、企業の採用基準の高まりなども含めて採用者数の減少が想定される。
x	新聞社 [求人広告]（営業担当）	・効果のないものを企業に勤めると、その広告会社が仕事を失うことにつながるため、新聞の求人広告は敬遠されるようになってきた。